

<p>課題名：不登校支援において居場所感を提供する関わり方の検討—支援初期に焦点を当てて—</p>
<p>内容：</p> <p>本研究では、家庭以外の場で心理専門職等の具体的な関わり方について、実際に不登校を経験し、不登校支援施設を利用した方との面接をもとに記述することを目的とする。また、その初期支援の関わり方を社会への再適応へと繋げるために行うべき配慮について示唆を得る。そのために、中学生時に不登校を経験し、不登校当時に適応指導教室やフリースクールといった不登校支援機関を1学期間以上継続的に利用した方で、当該支援機関に居場所感を感じていた方を対象としたインタビュー調査を実施する。</p>
<p>実験者：林優梨香</p>
<p>実験・面接時間：1回あたり30～60分を想定、インタビューは計1～3回実施予定</p>
<p>実験・面接場所：対面(新座キャンパス6号館6階研究用実験室4)もしくはzoom</p> <p>※研究説明ならびに事前アンケート回答のみ対面にて実施</p>
<p>謝礼：1人2000円を上限として謝礼をお渡しする予定である。インタビュー1回の実施につき1000円、2回以上の実施の場合は一律合計で2000円相当の謝礼をお渡しする。なお、事前アンケート終了時点でインタビューにご協力いただけない場合があり、その場合、謝礼は発生しない。</p>
<p>募集期間：2024年4月～2024年6月30日</p>
<p>連絡先：y_hayashi@rikkyo.ac.jp</p>
<p>その他：</p>